

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表 (13/16回収 無回答あり)

事業所名		重症児デイ ファミリー伊勢原	実施日			令和4年	7月	月	日	実施
		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	改善目標・工夫している点など				
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等スペースが十分に確保されているか	7	4	2	決して広いとは言えない				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	2	0					
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	0					
適切 な 支 援 の 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	13	0	0					
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	0	0					
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	7	コロナなので仕方がない				
保護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか	12	1	0					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0					
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等支援が行われているか	12	1	0					
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	8	このご時世仕方がないと思う				
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	2					
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	3	0					
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対し発信しているか	11	2	0					
	⑭	個人情報に十分注意しているか	11	1	0					
非常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1	1					
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1	1					
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	0					
	⑱	事業所の支援に満足しているか	12	0	1					

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名		重症児デIFファミリー 伊勢原	実施日			平成34年 7月	職員8名 実施
チェック項目			はい	どちら とも いえ ない	いいえ	改善目標・工夫している点など	
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	1	3LDKのマンションを使用している為、事業所内総面積に対して活用できる範囲は限られている。その中でもより効率的に使えるよう検討し、ベッドを増やしたりジョイントマットを引く範囲を広げるなど配置を工夫しているが根本的に狭く感じる。	
	②	職員の配置数は適切であるか	6	2	0	児発管・児童指導員・理学療法士・看護師各1名の常勤とパート看護師を人数に応じて配置している。配置基準3.2人	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	1	室内の段差はないが、玄関は折り畳みスロープを使用している。トイレが狭く車椅子では入れない。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加しているか	5	1	2	常勤・非常勤共に3か月毎に勤務評価を行い業務改善に努めている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	0	年に一回のアンケートを実施している。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	ホームページで公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	0	エリアマネージャからの助言に対し改善点を明確に対応しているが、パート職員への周知が課題。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3	1	医療的ケア児等支援者養成講座修了3名 医療的ケア児等コーディネーター研修1名 障害者虐待防止権利擁護マネージャーコース修了ほか虐待防止研修年2回他各研修動画視聴を活用し多岐にわたる研修に参加している。	
適切な支援の提供①	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	1	モニタリングを行い、お子様の現状認識とニーズを明確にし、具体的な計画を心がけています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	2	目標設定ガイドを基に発達段階の評価を基に活用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	2	児発管を中心に体調に配慮しつつ楽しく取り組める活動を企画している。リハビリや創作活動、感覚遊びなど好評を得ている。	
	⑫	活動プログラムを固定化しないように工夫しているか	4	4	0	活動に制限があるお子様に対しても、年齢にあった支援を心がけている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	2	医療ケアの時間が決まっている為活動の時間配分が大切だと考えている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	3	0	新型コロナウイルス対策を行い安全に集団活動ができるよう努めている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	2	朝のミーティングで電子連絡帳の読み上げや打ち合せ等行っている。	

適切な支援の提供②	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等共有しているか	3	1	3	送迎時の引継ぎなど情報を共有し記録に残している。送迎等参加できない場合は業務連絡ファイルで確認する。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	日々の記録が繰り返しにならないこと、主観で書かないことなどを指摘しあっている。記録が日々の支援の向上につながることを意識している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0	初回利用から3ヶ月、その後半年ごとに面談し個別支援計画作成に反映している。昨年度は感染対策として面談は実施できなかったが、今年度は実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1	1	時々の状況や課題に対してガイドラインを参考にしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5	1	1	学校や児相主催のケース会議、サービス担当者会議や医療関係者のzoom会議には管理者と必要に応じて看護師も参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	0	ご家族様からの許可を得て各学校の担任や養護学校のコーディネーターの先生と情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等連絡体制を整えているか	5	2	0	ご家族より主治医の連絡先を伺い緊急時に備えている。また医療指示書やサマリーにて確認している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に務めているか	2	4	1	必要に応じて行う体制は出来ているが実施はしていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	1	現在対象者いない。ご家族からの要望があれば情報交換が可能。
	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	3	その都度判断を行い対応している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか	2	2	3	コロナ渦でそのような機会は限られているが、住宅地という特性上、近隣の子供たちや外出活動時に遭遇した子供たちと関わり
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	3	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会こども部会・医療的ケア児等支援部会、平塚市障がい者自立支援協議会や圏域ネットワークに参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	0	体調変化だけでなく取り組んでいること、できたこと、創作の作品などに写真を交えて説明している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	2	伊勢原市こども支援部会主催のペアレントトレーニング研修に参加していますが、実際に企画できていない。保護者様の子育て観や信頼関係を壊さない様適切に行えるよう視点を持ちつつ、タイミングを計っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2	0	契約時や料金改定時に説明させて頂いている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2	0	保護者様の悩みや質問に対して参考となれるよう、研鑽に努め、送迎時などで話をさせて頂いている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	3	コロナ渦で積極的な紹介や企画の開催は難しい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	ご意見やクレームを事業所だけでなく、本社にも報告し対応を協議している。決まり事や根拠等わかりやすい説明で納得いただけるよう努めます。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	7	1	0	毎月の活動のお知らせ発行している。ホームページは毎月更新している。電子連絡帳コドモンでの写真掲載は不定期で行っている
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	2	0	十分注意している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2	0	写真や絵カードなどのツールの他バイタルサインなどでも気持ちを読み取れるよう支援している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	3	感染予防から意図的な招待は厳しいが、近隣住民の方との日常的な関わりはある。今年度から社会福祉協議会へボランティアの情報提供を再開した。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	1	緊急時対応マニュアルについては契約時お知らせしている。防犯・感染症マニュアルは職員間で共有している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	1	成瀬交番のパトロールや伊勢原消防署への登録、AEDの場所の確認、避難場所までの防災散歩・非常食試食会・非常持ち出し品や非常薬経管栄養の備蓄など年間計画を立て、防災訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	毎月、虐待防止チェックリストを活用し、行動の振り返りや相談できる体制を作っている。年2回研修を行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	2	0	車いすのベルトなど安全を考慮したうえで必要最小限の使用をするなど、ご家族様と確認している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	0	医療指示書や医療マニュアルアセスメントシートと合わせ確認している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有しているか	6	0	2	事故報告ヒヤリハットを作成し、ファイル化して周知している。